



東北の元気、日本の元気を青森から

青森県ロジスティクス戦略の概要

～東日本大震災からの創造的復興に向けて～

平成26年3月10日

青森県生活再建・産業復興局

青森県ロジスティクス戦略策定の背景

東日本大震災の経験を通じ、本県の全方位的な海上アプローチの良さと物流拠点としてのポテンシャルという大きな強みを持っていることを改めて認識。震災からの創造的復興に向け、この強みを生かした新たな経済成長の方策として平成26年1月15日付けで「青森県ロジスティクス戦略」を策定。

□ 戦略策定の背景

●青森県の物流史

- 三内丸山遺跡を始めとした縄文文化の発達を支えた海上交易。
- 中世の十三湊、江戸時代の北前船寄港地など環日本海物流に重要な役割。
- 青函連絡船、フェリーが北海道・本州間物流の大動脈として機能。

●東日本大震災で再認識した物流機能

- 被災した八戸港は、いち早く機能の復旧が図られ、青森港や大間港等と連携し、東北への物流供給基地となった。
- 本県の港湾は、全方位的な海上アプローチの良さから、国内におけるサプライチェーン寸断へのリスクヘッジを担える大きなポテンシャルを有していることが浮き彫りとなった。

●グローバル物流環境の変化

- 津軽海峡には北米とアジアの間の国際貨物のうち約3割が集中。将来的には北極海航路の実現可能性が見込まれている。
- 津軽海峡は、欧州や北米とアジアをつなぐゲートウェイとなる可能性を秘めている。

青森県ロジスティクス戦略の策定経緯

- 平成23年 3月
 - 平成23年12月
 - 平成24年 3月
 - 平成24年 7月
 - 平成25年 3月
 - 平成25年 4月
 - 平成25年 6月～12月
 - 平成26年 1月
- ・ 東日本大震災発生
 - ・ 青森県復興ビジョンで「北東北の物流拠点機能の強化」を位置付け。
 - ・ 復興調整費を活用し「物流ロジスティクス構築調査事業」に着手。
 - ・ 庁内ワーキングチーム（座長：佐々木副知事）を設置。
 - ・ 青森県ロジスティクス戦略レポートを策定公表。
 - ・ 平成25年度ロジスティクス推進事業として調査・研究を継続。
 - ・ 青森県ロジスティクス推進懇話会開催。
(第1回 6/8、第2回 7/17、第3回 11/1、第4回 12/13)
 - ・ 青森県ロジスティクス戦略策定

青森県ロジスティクス推進懇話会での検討



懇話会座長から戦略(案)の報告



青森県ロジスティクス戦略 趣旨

- 青森県の強み(優れた産品や製品)を育成・強化するために、時間、距離、コスト、情報の壁を乗り越えて、需要(消費市場)と供給(生産市場)とが円滑につながる環境づくりを進める。
- これらを実現するロジスティクス基盤(円滑な商流環境や最適な物流環境)を長期的な視野の下に育成・整備し、全国・世界との経済交流の拡大を目指す。



青森県ロジスティクス戦略 将来像

将来像(2030年) 北東アジアにおけるグローバル物流拠点化

《視点1》 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点

北日本の農林水産品等を世界の市場に送り出す拠点を旨す。

《視点2》 国際的な物流動脈と直結したグローバル・ロジスティクス拠点

北日本における産業のグローバル化を支えるロジスティクス拠点(貨物の積み替え基地等)を旨す。

《視点3》 食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点

安定的な確保と供給が可能な物流拠点や中継拠点を旨す。



将来像イメージ図(北東アジアにおけるグローバル物流拠点化)

☆将来像 北東アジアにおけるグローバル物流拠点化

- 《視点1》 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点
- 《視点2》 国際的な物流動脈と直結したグローバル・ロジスティクス拠点
- 《視点3》 食料・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点

北米航路
アジア・北米間物流

北極海航路
アジア・欧州間物流

津軽海峡
国内物流・国際物流
の結節点

日本 約1億2.8千万人
GDP 4兆7,557億US\$

高雄
台北

韓国 約5.0千万人
GDP 1兆1,753億US\$

プサン
ソウル

中国華東エリア 約1億6千万人
域内総生産 1兆7,400億US\$

上海

極東開発

ウラジオストク

羅先

北朝鮮 約2.4千万人
GDP 308億US\$

ピョンヤン

青島

中国華北エリア 約1億人
域内総生産 1兆7,400億US\$

ロシア極東連邦管区
約0.6千万人
域内総生産 632億US\$

ハバロフスク

大連

中国東北エリア 約1億1千万人
域内総生産 8,070億US\$

天津

北京

北極海資源開発

北東アジアの経済成長

北東アジア 約4億5千万人
GDP 5兆1,075億US\$

短期的な取組の具体策

平成26年度から平成30年度の5年間を短期と位置付け
産業力強化と物流拠点化の両面から、それぞれの目的に応じ、
計8つの取組を提示

(短期目標)

産業力
強化

目的1. ロジスティクス課題の改善による
農林水産品の国内展開支援

目的2. ロジスティクス課題の改善による
農林水産品の海外展開支援

農林水産品の
流通拡大

物流
拠点化

目的3. 港湾の利便性向上による貨物の集積

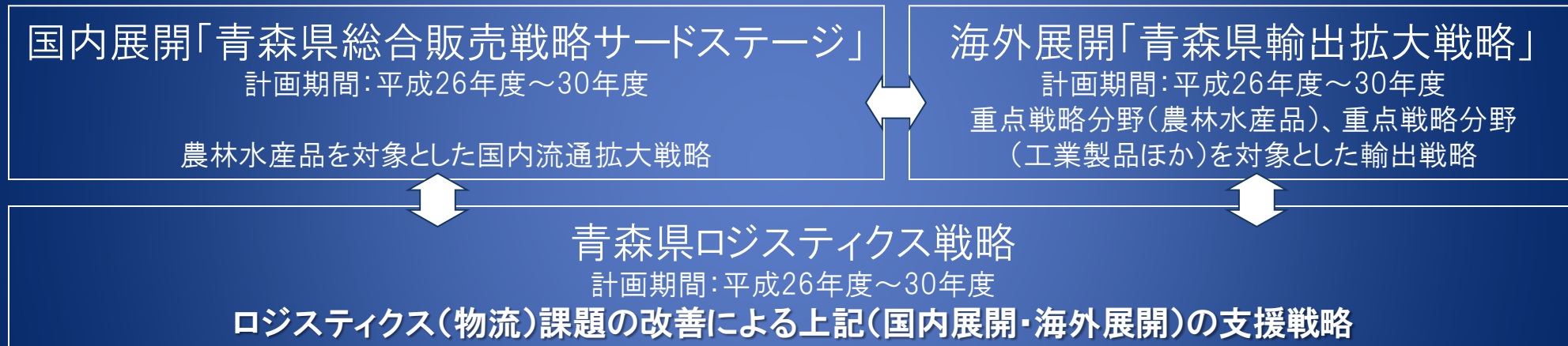
目的4. 北米航路、北極海航路を意識した
本船寄港の検討

貨物の集積と
航路の充実

青森県ロジスティクス戦略の短期的位置付け

○「青森県基本計画未来を変える挑戦」の推進を支援する戦略
産業・雇用分野における政策・施策に対して、ロジスティクス(物流)の面から方向性や具体策を提示し、基本計画の推進を支えるもの。

○農林水産品の流通拡大をロジスティクス(物流)の面で支援する戦略



○道路や港湾等の整備による物流インフラを有機的に連携させ、一層の活用を支援する戦略

※ロジスティクスは様々な分野にまたがる裾野の広いテーマ。
青森県ロジスティクス推進庁内連絡会議等とおし、部局横断的に連携を強化していく。